

千鳥では、スムーズに学校生活が始められるよう、様々な取り組みで新入生をサポートしています。



令和5年度 入学式

千鳥だより

第1号



四月十日(月)、令和五年度入学式が、厳かに挙行されました。校長式辞では、高校時代は将来を考える時であるので、人生を構想し真剣に考え抜いて欲しい。また、高校時代は挑戦の時でもあるので、失敗を恐れず、何事にも挑戦する姿勢を持つて欲しい。」と、新入生に期待する言葉がありました。

宣誓では、代表生徒が「これから始まる高校生活を全力で楽しみながら、それぞれの夢や目標に向かって精一杯努力していきたい。」と決意を述べました。

新入生の抱負

入学後の抱負は勉強と部活動の両立を頑張ることです。僕は何事にも目標を持ち、それが達成できないと他のことに身が入らなくなります。そうならないように勉強でも部活動でも弱点の克服を優先していくことが大事だと思います。更なる向上を図るために、それらに効率よく集中して取り組もうと思います。

面地健太(笠岡東中出身)

私は、予習と復習を習慣化し、しっかりと学習時間を確保できるように頑張ります。そして、高校の勉強をしっかりと理解し、三年後に希望の大学に進学できるようにしたいです。また、部活動や委員会活動、学校行事など、勉強以外のことにも全力で取り組み、人としても成長できる三年間にしたいです。

三宅希実(井原中出身)

私は将来、つきたい職業に就くために大学に進学したいと思っています。授業が本格的に始まり、中学校までの勉強方法では通用しないと実感しました。だから、予習と復習を徹底し、高いレベルの知識をつけたいと思いました。グローバル化する社会でも通用する人間になれるよう積極的に活動していきたいです。

宮瀧 駿輔(鴨方中出身)

千鳥スターティングプログラム

四月二十一日(金)、一年生一四八名が参加して「千鳥スターティングプログラム」が笠岡総合体育館で行われました。

開校式後の最初のプログラムは「ベースデーチェーン」です。ベースデーチェーンは声を出さずに一月一日から生まれた日の早い順に輪をつくるゲームで、生徒たちは手で数字を出し合いながらコミュニケーションをとりました。一つの輪をつくりました。「教員紹介〇×クイズ」では、先生方の秘密の暴露に生徒たちは驚きの声や正解した時の歓声などを上げ、大いに盛り上がりました。「ソフトバレーボール大会」では、互いに声を掛け、励まし合うなどして、クラスの団結力が高まった時間でした。午後からは「校歌コンテスト」を開催しました。これまで感染症対策で声を出しての斉唱ができませんでしたが、互いの距離を確保しながら、各クラスとも大きな声で校歌を歌い上げることができました。



令和4年度大学入試合格実績

国公立大学

- 名古屋大学 大阪大学
- 九州大学 東京工業大学
- 千葉大学 広島大学
- 岡山大学 愛媛大学 など

国公立大学

96 名合格

令和5年3月31日現在 既卒者含む

私立大学

- 慶應義塾大学 明治大学
- 同志社大学 立命館大学
- 関西学院大学 関西大学
- 近畿大学 龍谷大学 など

